



統計でわかる！ Vol.7 令和7年3月

九州の耕地利用



※SAFFは「Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries」を表現しています。

1 農業地域別及び九州各県の耕地利用率（令和5年）

- 九州の耕地利用率は、二毛作が盛んな地域であることから、全国平均を大きく上回っている。
- 九州各県別にみると、福岡県や佐賀県では水田を活用した裏作麦、宮崎県では飼料作物の作付けが盛んに行われているため、これらの県で高くなっている。

図1 農業地域別耕地利用率（令和5年）

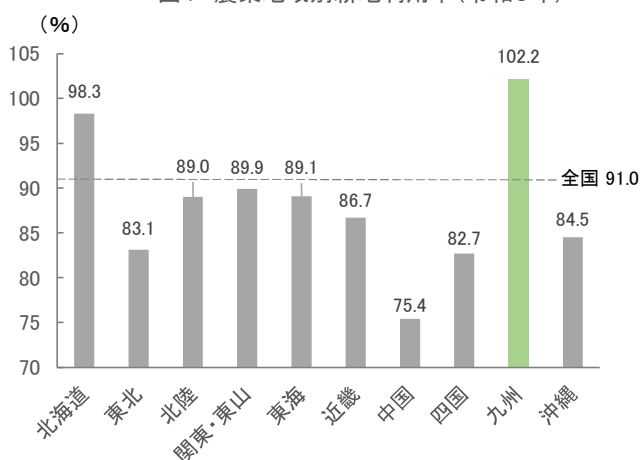
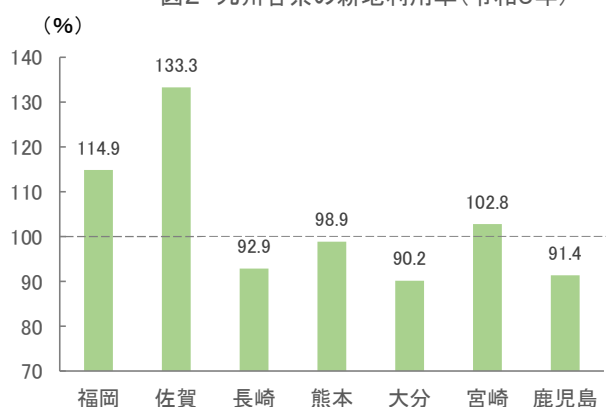


図2 九州各県の耕地利用率（令和5年）

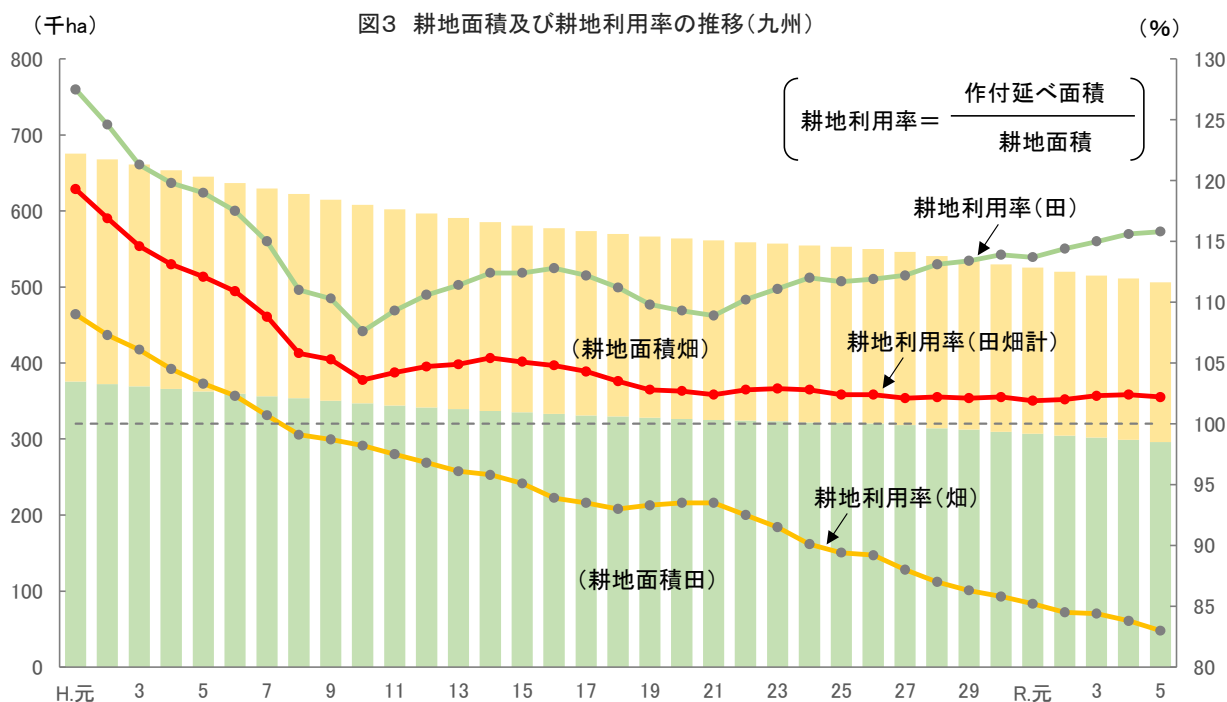


2 田畑別面積及び耕地利用率の推移（九州）

資料：農林水産省統計部「作物統計調査」

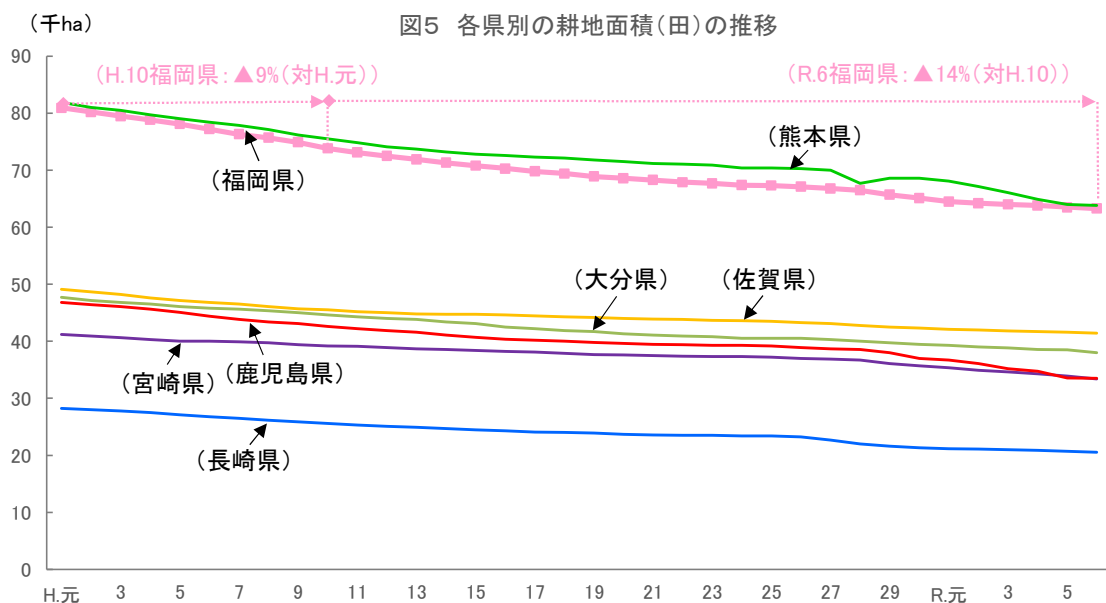
- 九州の田畑別の耕地利用率の推移をみると、畑は年々低下しているが、田は平成10年までは大きく減少し、平成11年以降は上昇傾向で推移している。この結果、田畑計では平成11年以降ほぼ横ばいで推移している。

図3 耕地面積及び耕地利用率の推移（九州）



3 田における耕地面積の推移（九州各県）

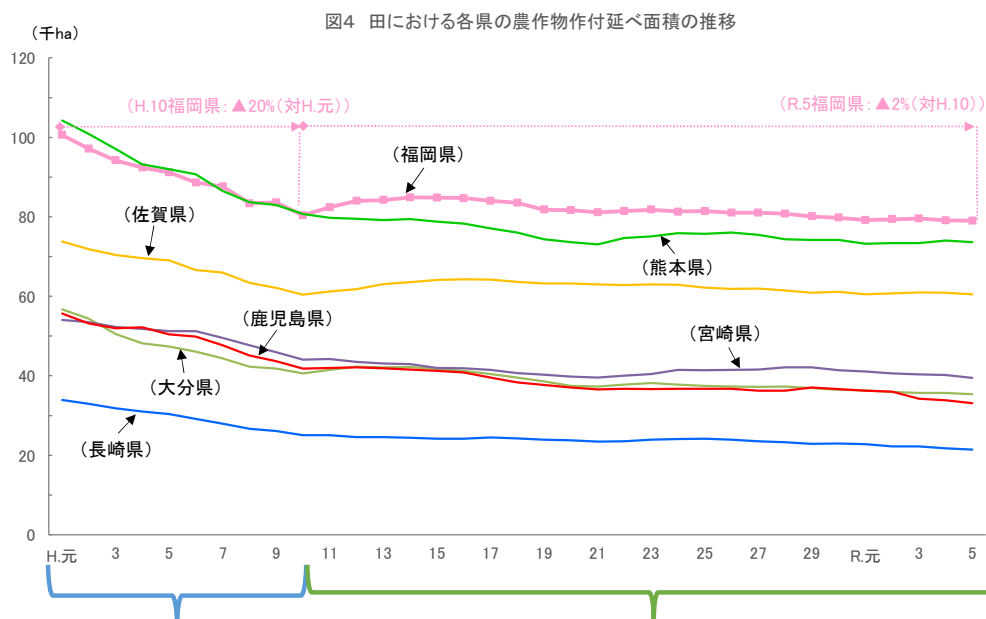
○田の耕地面積をみると各県ともに減少傾向が続いている。



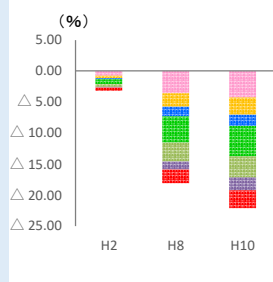
資料：農林水産省統計部「作物統計調査」

4 田における農作物作付延べ面積の推移（九州各県）

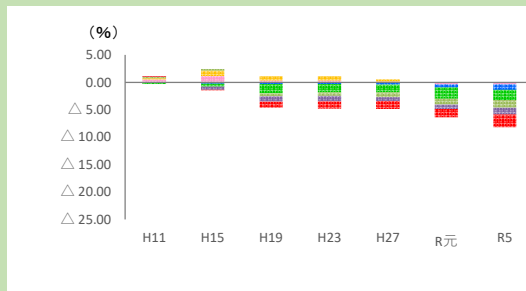
○田における県別の農作物作付延べ面積は、平成10年までは各県ともに大きく減少。
その後、平成11年以降は福岡県、佐賀県では横ばい、その他の県でも微減で推移している。



増減寄与率の推移（H元基準）



増減寄与率の推移（H10基準）

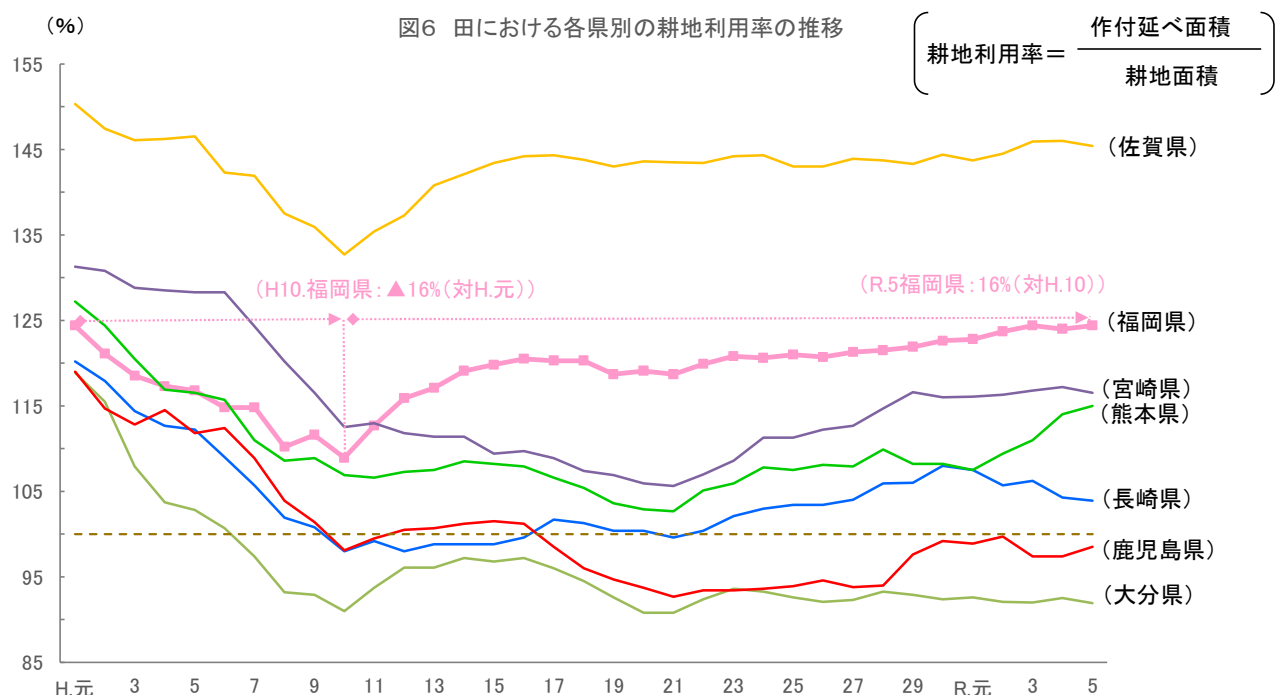


■ 福岡 ■ 佐賀 ■ 長崎 ■ 熊本 ■ 大分 ■ 宮崎 ■ 鹿児島

資料：農林水産省統計部「作物統計調査」

5 田における耕地利用率の推移（九州各県）

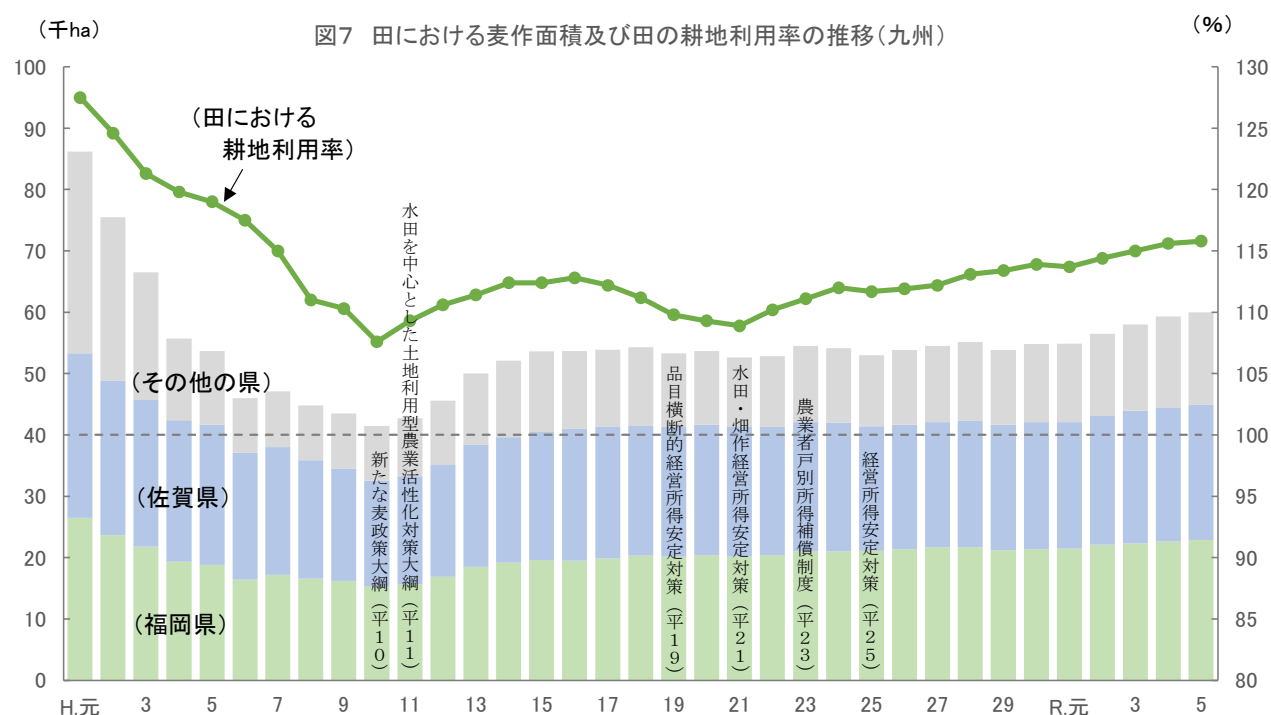
○この結果、管内各県の田における耕地利用率は平成10年まではそれぞれ減少傾向で推移。平成11年以降は福岡県と佐賀県で大きく上昇し、宮崎県もやや上昇。また、熊本県は令和元年以降に大きく上昇している。



6 田における麦作面積及び田の耕地利用率の推移（九州）

○田における麦作面積の推移をみると、平成11年以降おおむね上昇傾向で推移している。このため、耕地利用率は上昇傾向で推移している。

○福岡県、佐賀県は、平成10年まで減少していたが、平成11年以降増加に転じている。



【参考 総土地面積における耕地面積割合】

